

対応件数

100

件以上

社会課題の 解決に向けた 法律に関する 相談を BLP-Networkで。

NPO向け
弁護士ネットワーク



about BLP-Networkとは？

社会課題の解決に取り組む団体の皆さんがリスクを恐れず前進できるように、「法律」という視点で皆さんと共に歩んでいきたい。
そんな想いを持った弁護士等の団体がBLP-Networkです。

共に歩む BLP-Networkメンバー

所属している弁護士は現在50名以上。法律事務所や一般企業で活躍しており、若手からベテランまで幅広い世代が所属しています。

鬼澤 秀昌

政策提言分野
BLP-Network代表
おにざわ法律事務所

瀧口 徹

教育分野
BLP-Network副代表
牛込橋法律事務所

BLP-Networkの行動指針

1. 社会課題に関心を持つこと
2. ビジネス法務の知識とスキルの研鑽を積むこと
3. 互いに知識・経験を提供し合うこと

丸山 翔太郎

海外支援分野
BLP-Networkメンバー
モリソン・フォスター/
伊藤見富法律事務所

what to do BLP-Networkができることと可能性



同志の仲間をつくれる



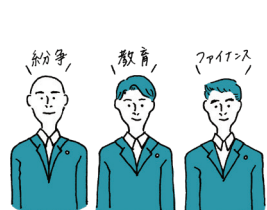
共通の関心分野でつながりができる



政策提言のサポート



リスク回避



活動分野にあった弁護士とやりとりできる



NPOの仕組みにあった提案ができる



法律に関する不安解消

NPOならではの悩みを汲み取ってくれるのは心強いですね！

今後のことについても一緒に考えていきましょう！



Real Voice
法律に関する不安解消

費用を気にせずに
ざっくばらんに相談できるのは
BLP-Networkの弁護士ならではの。

得意分野は子ども関係のNPOのサポート！

弁護士の活動拠点を広げるため参加



NPO 立ち上げ期に
出会う

非営利における
法律問題とは…？



BLP-Network 副代表
瀧口 徹

同意書の作成、利用規約、プライバシーポリシーの監修。
利用者・ボランティア間のトラブルも相談。

小話 個人的に活動に興味があり、イベントに参加していた



公益社団法人 MORIUMIUS
油井 元太郎さん

NPOを立ち上げた際、一般企業に勤務していたときに相談をしていた年配の経験豊富な先生方であっても、NPOの法律について相談して良いものなのか、と躊躇したことがありました。今はBLP-Networkで紹介いただいた同年代ぐらいで、NPOに関する事業についても理解がある瀧口弁護士にお願いしています。非営利団体であっても、事業の性質上、サービス業のような立場にあり、リーガルのサポートは欠かせません。事業内容や志についても理解した上で、いつでも相談に乗ってくれる人がいるという安心感は、大変有難いです。

2013年より宮崎県石巻市雄勝町に残る廃校を再生するプロジェクトに着手。学びの場として2015年にオープンさせ、以降子どもの教育を通じた町の新生を目指す。

<http://moriumius.jp>



Real Voice
リスク回避

スタッフや障がい者の質問でも
内容を汲み取って広く対応
してくれるのは有難い。

自分が培った知識・スキルで
社会貢献したい！

社会貢献を
目的に参加



「プロボノ 弁護士」と
検索をして知る

活動資金がなく顧問弁護士に
相談は不可能…？



BLP-Network メンバー
木下 岳人

アーティスト（障がい者の方）との契約書の監修。
その他、疑問に思ったことを相談。

小話 今後も継続的に自立するまで一緒に伴走いただきたい！



一般社団法人障がい者アート協会
水谷 陽平さん

障がい者アート協会では、障がい者の方が行えないディレクションやアートを製品化する作業を行っていました。その作業の中で特に重要な著作権の扱いについては概要しか知らず、契約書はネットに上がっていたものを使用していました。障がい者の方から権利の管理委託を受けている立場であることを考えると、勝手な契約を結ぶわけにはいかないと考え、BLP-Networkに相談しました。担当の木下さんには本業の合間を縫って対応してもらっています。営利企業の弁護士と大きく変わることはなく、木下さんの人柄に惹かれ今でも継続的に依頼をしています。

障がい者の方が自己表現、創作活動を通じて社会とのつながりを持つことを応援する協会。アーティスト（障がい者の方）が手がけたアートを製品化し、販売を行う。

<https://www.borderlessart.or.jp>



Real Voice
政策提言のサポート

弁護士の専門的な知見は
ロビー活動をするときも、
強力な武器になりました。

政策提言も積極的に
サポートしたい！

社会課題の解決
に共に挑みたい



知り合いのNPOの
紹介で出会う

アメリカの法律をどう
分析すればよいのか…？



BLP-Network 代表
鬼澤 秀昌

アメリカの法律、それを日本に
導入する場合の障害の分析

小話 今も政策提言に関するイベント等で一緒に



全国フードバンク推進協議会
米山 広明さん

全国フードバンク推進協議会では、フードバンク活動の推進を通じて食品ロス削減、貧困問題が解決される社会を目指しています。当団体は、食品ロス削減法案の成立のためのロビー活動をしてきました。そのために、アメリカで食糧寄附促進のために制定されたビル・エマソン食糧寄附法の分析及び日本への導入にあたっての障害は何かについて、鬼澤弁護士、梅津弁護士、張弁護士に調査してまとめていただきました。法律のことは専門外でしたが、ロビー活動の際も積極的に資料として活用することができたので、大変心強かったです。

※本プロジェクトは、認定特定非営利活動法人サービスグラントとの協働プロジェクトとして実施されました。

国内フードバンク団体が抱える課題を共有し、解決を目指すとともに、フードバンクを取り巻く社会的環境整備を行うことで、日本にフードバンク活動が根付くように、アドボカシー活動をしています。

<https://www.fb-kyougikai.net/>



BLP・法律に関する

Q & A

Q1

依頼は無償でしょうか？
有償でしょうか？

A1

相談につき有償か無償かは、最初の相談フォームで選択することが可能です。今までの実績では、無償でご依頼いただいている方が多い傾向にあります。

Q2

NPO法人でないと依頼はできないのでしょうか。

A2

対象は法人格の形態・有無で限定はしておりません。そのため、NPO法人のみならず、一般社団法人、一般財団法人、株式会社、任意団体、個人の方等も相談は可能です。

Q3

どのような分野での質問でも良いのでしょうか。

A3

はい。どのような分野の質問でも良いです。ただし、当団体は、ビジネス法務により社会課題の解決を目指す活動のサポートをしています。そのため団体の運営にかかわるご質問に強いです。



基礎知識を取り入れたい方におすすめ
Amazon・書店にて販売中です！

NPOの法律相談 知っておきたい基礎知識 60

「寄付を集めるときの注意点は？」「似た名前の別団体が現れた！」「ボランティアのトラブルにどう対処？」「事業を他団体に継承するには？」「フローレンス、カタリバ、TABLE FOR TWOなど多くの非営利組織・ソーシャルビジネスを支援する弁護士のグループがわかりやすく解説。Q&A式・図解入り。(2,700円+税)」

BLP-Network

団体名	BLP-Network
設立日	2012年8月29日
形態	任意団体
運営者	代表 鬼澤秀昌 副代表 池末匠、岩佐真幸、瀧口徹、根本剛史、吉村祐一
参加者所属先	法律事務所 / 一般企業 / 司法研修所等
メディア掲載	弁護士ドットコム 日本経済新聞 渋谷のラジオ Attorney's Magazine 朝日新聞 二枚目の名刺ウェブマガジン



メンバー募集

BLP-Networkでは、NPO支援を行う弁護士同士交流して仲を深めるとともに、各弁護士の知見の共有等もしています。また、法科大学院生や、司法修習生なども参加しています。社会課題を解決する仲間をみたい弁護士、司法修習生、法科大学院生等を募集しています。

order

ご相談の流れ

1

WEBフォームからご相談のお申し込み

下記QRコードよりお問い合わせフォームにて必要事項をご記入ください。

2

BLP-Network事務局がご相談内容を確認
担当弁護士を募集します。

3

担当弁護士よりご連絡致します。

4

まずは担当弁護士と顔合わせ。
ご相談内容をお伺いします。

5

相談内容に応じて、
メールによるアドバイス等を提供します。

— ご連絡から担当弁護士紹介まで —



— 受任から完了まで —



contact



ご連絡はコチラから

<https://www.blp-network.com/>

様々な専門性・関心をもった弁護士が加入しています。ご相談だけでも構いませんので、お気軽にお問い合わせください。